

長久手生まれ長久手育ちの市議会議員 山田けんたろう活動報告

みらい
通 信号
2018夏号



ジョグバトでおなじみの
山田けんたろうです。

まちの声を力に百年先（みらい）を創る！ Vol.9



新たに要望が
形になりました



定額乗り合いタクシーの 実証実験が開始されます

新たな高齢者等移動支援事業として、定額乗り合いタクシーの実証実験事業が、過日閉会を迎えた平成30年第2回定例会（6月議会）に補正予算議案として上程され審議、可決されました。

これは、2年前の平成28年、当時全国では、ご高齢の方の運転による事故が多発し問題視され始めた頃であり、私、山田けんたろうも市民の皆様から切実なお声を頂き、悲しく痛ましい事故をこれ以上起こさないよう、ご高齢のドライバーによる自動車運転環境の実態の改善と、ご高齢の皆様が安心安全に、気軽に外出できて暮らしやすい交通移動手段と生活環境の構築を願い、議会で1年を通じて、全国各市町のご高齢の方への外出促進、交通移動手段の先進的な取り組みや乗り合いタクシーの実証実験の先進地事例を取り上げながら質問と要望をし続けました。

平成28年第4回定例会（12月議会）山田けんたろう 一般質問 高齢者の自動車運転について

- 福祉有償運送事業を拡大する事やタクシー事業者と連携し、市内で小回りの利く移動手段としないか。

平成29年第1回定例会（3月議会）山田けんたろう 一般質問 高齢者の外出促進について

- あつたかあどの普及促進とサービスの拡充を行わないか。
- 市内の事業者を中心に運転免許自主返納サポートの仕組みを設け、運転免許経歴証明書、あつたかあど両方で受けられるサービスを構築しないか。
- 運転免許自主返納サポートの仕組みと合わせ、おでかけサポートの仕組みを設け、NPO事業者、タクシー事業者、市民ボランティアと連携し、新たな外出促進として移動手段の体制を構築しないか。

平成29年第2回定例会（6月議会）山田けんたろう 一般質問 市民、高齢者、運転免許証自主返納者の外出時の移動手段について

- タクシー事業者と連携し、デマンド型タクシー制度の導入やタクシー相乗り制度を推進しないか。

それが、この度、形となりました。 先ずは実証実験からですが、まだまだ元気にご活躍される団塊の世代の方、ご高齢の方が、お車等の運転に伴うリスクも無く、暑い中、寒い中、リコモやバス停まで一所懸命に歩かれたり、長時間バス停でNバスを待たれることなく、ドア to ドアで、お友達皆さんとお誘いあわせのうえ、元気に気軽に賑やかにわいわいとお出かけして頂ける、そんなお姿が溢れる長久手市を心より願います。

実証実験概要（予定）

実証実験期間	平成30年9月から10月の2か月間
対象者	赤あつたかあど保有者（随時発行）
利用可能エリア	長久手市内全域
利用料金	赤あつたかあど提示 （500円/1人/1回）
車種・車両	セダン型タクシー・ジャンボタクシー



その他一般質問は裏面へ

山田けんたろう プロフィール

「長久手生まれ 長久手 育ちの市議会議員」
1974年（昭和49年）生まれの44歳
長久手市 喜婦嶽出身
長湫東保育園～長久手西小学校～長久手南中学校
愛知産業大学 建築学科卒

- 会派 長久手グローバルネット
- くらし建設委員会 副委員長
- 尾張東部衛生組合議会議員
- 尾三消防組合議会議員
- 自民党愛知県支部連合会 青年局
- 自民党長久手支部 青年局
- 長久手市商工会 青年部
- 長久手市郷土史研究会
- 長久手ランニングクラブ
- （一社）愛知中央青年会議所 第33代 理事長
- 第41回 JC 青年の船「とうかい号」チームリーダー
- 第49回 名古屋まつり 第30代 織田信長役

- ◇家族 妻と子2人（1男1女の父）
- ◇趣味 ジョグバト トレーニング 映画鑑賞

活動実績

- ジョギングパトロールの導入
- 乗り合いタクシー実証実験の導入
- 就労支援コーディネーターの配置
- 古戦場再整備計画内のAR・VR展示の導入
- あつたかあどの普及、サービス拡充の各施策
- 高齢者の消費生活保護対策
- 歩道・横断歩道整備や市内各所の交通安全対策など

心の言葉

じょ
恕
(人を思いやる心)
いちどいちま
一期一会
(出会いを大切に)
亡き父からの言葉

長久手市議会議員 山田けんたろう 発行 (長久手市喜婦嶽)

市民の皆様のお声をお待ちしています。
お気軽にお声がけ下さい。

Web
<http://yamada-kentaro.com>
E-Mail
nagakute@yamada-kentaro.com

TEL 090-2340-1713

FAX 62-0370

f kentaro0408
@facebook.com

LINE kentaro1713

後援会へご入会も随時
お待ちしております。



山田けんたろう
ホームページ

待望の歩道が完成！

要望が形になりました



< 西原山に待望の歩道が完成 >

かねてより当該地域にお住まいの皆様より、長久手市議会の各議員や私、山田けんたろうに切実なご要望を頂いており、私も1年前の平成29年長久手市議会第1回定例会

山田けんたろう 一般質問「市内の道路交通対策について」

の中で意見要望いたしました。**その歩道がこのたび完成いたしました。**

粛々と、かつ早期に完成させて頂きました行政の皆様、誠に有り難うございました。本市は約50年前から続く区画整理事業の仕上げの開発や近年の人気から民間の事業者による開発などの急速な発展により市内各所で、このような日々の交通に危険な場所が発生しています。

新しく道路を新設することは難しくとも、「着眼大局 着手小局」の「対処療法」は可能です。ぜひ、**長久手市議会に、会派：長久手グローバルネットに、山田けんたろうに、**ご意見ご要望をお寄せください。

議 会 報 告

平成30年

第2回定例会 一般質問

会期日程

平成30年6月14日～7月6日

香流川整備計画（近自然工法）と香流川の生物群からなる生態系について

現在、香流川上流域では、香流川整備計画に基づき公園西駅周辺地区の香流川を重点整備箇所として、同地区の開発に歩調を合わせる形で整備工事が進められています。将来は「里地の丘」「風光の丘」「親水の丘」として整備されます。そこでは「改変を最小限にし、生物群や生態系を多様にするため（中略）」として「近自然工法」を導入し工事が進められています。「近自然工法」とは、「当該地域の生態系と物理環境を読み取り、（しくみ）の保全と再生を目指す（中略）」工法です。

しかしながら、事業着手において事前の水棲生物の調査や水質調査も行われておらず、その調査やモニタリングも事業（第一期工事）施行後の昨年度に行われており、何のための整備事業なのか、香流川を思っている整備なのか、自然を思っている整備なのか、事業完遂ありきの整備ではないのか。と長久手生まれ長久手育ち、香流川を愛する1人として質問をしました。



< 整備中の香流川上流水域 >

市側の主な答弁
建設部長

公園西駅周辺の開発に同調させるため、重点整備箇所として早期着工している。

生活道路の交通安全対策とゾーン30等の導入について

交通対策担当職員の配置を！

現在、市内各所の開発により、生活道路が幹線道路化しています。過去の質問においても市の答弁は、道路の新設や拡幅を行っても将来は人口が減る。将来は自転車の世になる。予算が必要。など道路の整備には慎重な姿勢を示しています。もっともであると思います。そんな中、現状の対策は、カラー舗装、センターラインの抹消、ポール設置等の物理的デバイスが行われています。

私は、更に効果のあるゾーン30やスクールゾーン、7-9規制等の交通の規制が有効であり必要と考えます。そのためには、地元住民、警察、行政との協力が必要です。しかしそれが難しい現状があります。住民、警察、行政を結び橋渡しをする。主体的になって動く人間が必要と考え、交通対策担当課、交通対策担当職員を配置しないか。それが、市長が常々唱える「職員が飛び出すまち」ではないか？質問と要望を致しました。



< ゾーン30の導入例（市が洞地区） >

市側の主な答弁
吉田市長

私もそう思う。真剣に考えねば子どもたちの安全を守ることができない時代に来ている。皆で考えたい。

その他の一般質問

- ◆ 愛・地球博記念公園（モリコロパーク）の情報を長久手市民へ
- ◆ 市内の街路樹の樹名表示を

詳しくは山田けんたろう ブログにて。

<http://yamada-kentaro.com>